

# 国際ビジネス調査レポート

鳥取県立図書館 支援協力課 市町村担当司書 高橋真太郎

- 1 主催・共催問わず館内のビジネスイベントを紹介する HP カレンダー (New York Public Library)
- 2 IターンUターンに応用を！移住者のためのビジネス情報支援 (〃)
- 3 開催したビジネス講座は動画で保存、図書館の情報資源に (〃)
- 4 資金源のある団体と組んでビジネスプランコンテストを開催 (〃)
- 5 求職者に特化したサービスの実施 (〃)
- 6 図書館の「場」をビジネスに提供 (〃)
- 7 ベストセラー情報や書評を使ってビジネス本を紹介 (〃)
- 8 パソコンスキルをマスター コンピュータクラスの開催 (〃)
- 9 Twitter、Facebook、Flicker まで、図書館につながるための10種類のメディア (〃)
- 10 図書館をチャンピオンの表彰 = 活用事例の収集(一般人&有名人) (New Jersey Library)
  
- 11 図書館で、こんな質問受け付けます (Cecil County Public Library)
- 12 ビジネス支援サービスをオフィスに出向いて出前説明 (Charleston County Library)
- 13 アリゾナ州立大学と共同で経営するコワーキングスペースの設置 (Scottsdale Public Library)
- 14 テーマは何でも、ビジネス相談会マッチアップサービス (〃)
- 15 月曜日の朝のビジネス情報交換会 (〃)
- 16 発明・特許を住民のものに ~特許・商標情報センター~ (Free Library of Philadelphia)
- 17 ビジネスパーソンがターゲット！ 資料のコピー郵送サービス (New York State Library)
- 18 地元企業家から学ぶローカルビジネス講演会 (Kansas city public library)
- 19 高卒生に求職・金融に関する情報を (County of Los Angeles Public Library)
- 20 学生向けビジネス図書館ツアー (City Business Library of London)
  
- 21 NPOや非営利活動を支援するのはビジネス支援？ (Denver Public library)
- 22 カップケーキショップを開店するためには何が必要？ (Portland public library)
- 23 ビジネス支援で「お金」に関する情報も (〃)
- 24 法律だってビジネスパーソンには必須の情報 (〃)
- 25 行政情報の提供もビジネス支援サービスの一環として (〃)
- 26 ものづくりスペースを図書館の中に (Johnson county library)
- 27 ホームページで地域のビジネストピックスを提供 (Boston Public Library)
- 28 情報交換会にコーヒーはいかが？ → 図書館併設のカフェでは？ (PIMA County Library)
- 29 地域に特化したエネルギー産業コレクション (Dallas Public Library)
- 30 ビジネスライブラリーカードの発行 (Pasadena Public Library)

図書館名	New York Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 1
URL	<a href="http://www.nypl.org/smallbiz/calendar">http://www.nypl.org/smallbiz/calendar</a>			
タイトル	<b>NYPL's Business Library, SIBL, offers events and business seminars. See what's coming up on our calendar! (ビジネスイベントカレンダー)</b>			
概要	館内で開催されるビジネス関係イベント（自館・他機関開催問わず）を一つのカレンダーで紹介している。それぞれのイベントに対象者（求職者、ビジネスマン等）を明記している。また、館外でイベントを開催する外部団体へのリンクも設定している。			
提案	日本の図書館では、自館ホームページには自館主催のイベントしか掲載しないケースが多い。他機関主催のものでも図書館で開催されるイベントとして紹介すべき。対象を明記することは、それぞれの人へのお誘いのメッセージとなる。			

図書館名	New York Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 2
URL	<a href="http://www.nypl.org/locations/tid/65/node/226928">http://www.nypl.org/locations/tid/65/node/226928</a>			
タイトル	<b>The Immigrant Business Connection (転入者：移住者のための情報の提供)</b>			
概要	新しく市に転入してきた人に役立つビジネス情報をまとめて提供するポータルサイト。市の関連部署と連携し、ニューヨークで事業の立ち上げを目指す人々へ、言語習得のためのセミナー、地元の支援機関、NGO、民間グループ等に関する情報を提供。			
提案	人口減少が問題となっている自治体図書館のビジネス支援として、Iターン、Uターン者、進出企業への情報提供サービスはどうか（※郷土資料の活用、地元企業関連情報の収集、図書館の場や無料ネットワーク環境をコワーキングスペースとして提供するなど）			

図書館名	New York Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 3
URL	<a href="http://www.nypl.org/smallbiz/videos">http://www.nypl.org/smallbiz/videos</a>			
タイトル	<b>Video (ビデオ：動画)</b>			
概要	ビジネスの専門家が講師を務めたセミナーや講義を、映像やオーディオファイルなどで記録し、パワーポイントのスライド等と併せてネットで公開。（図書館で開催されたものが主だと思われる）			
提案	図書館で開催したビジネス関係の講演会やイベントを映像化し、当日の配布資料とともに自館資料として保管する（可能な場合はネットで公開）。アーカイブ機能を兼ねる。 また、YouTube や Ustream、MOOCs 等、現在は無料で公開されているネット上の映像情報資源も多い。それらを整理・保存しリンク集を作成するのはどうか。			

図書館名	New York Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 4
URL	<a href="http://www.nypl.org/locations/tid/65/node/95979">http://www.nypl.org/locations/tid/65/node/95979</a>			
タイトル	<b>Business Plan Competition-NY StartUP! 2014 (NY ビジネス・プラン コンクール 2014)</b>			
概要	スポンサー団体である「Citi Foundation」と組み、ビジネス・プランのコンクールを開催。エントリーシート審査、図書館資料活用法セミナーやビジネス・プラン作成の研修会等を経て優秀プランに資金を助成する。表彰の様子がネットでも公開されている			
提案	資金力のある財団(団体)と組むことで「資金提供」を実現しイベントの魅力UP。ビジネスについての目利きの財団と協力することで、事業の成功率も向上する。日本でも財団や銀行等の連携を模索してはどうか。結果を大々的に公開し更なる広報へつなげる。			

図書館名	New York Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 5
URL	<a href="http://www.nypl.org/locations/tid/65/node/40820">http://www.nypl.org/locations/tid/65/node/40820</a>			
タイトル	<b>Job Search Central (求職者向け情報サービス)</b>			
概要	「求職者」という利用者を独立させ、それに特化したサービスを実施。館内にサービスエリアの設置、必要な情報へのリンク集の作成、データベース(インターネット)の無料利用、相談機関や行政の窓口の紹介、活用できる資料の紹介等を行っている。館で開催する講座やセミナーにも「求職者向け」のものも多い。			
提案	日本の図書館のビジネス支援は、ハローワークの求人情報の提供や面接・論文に関する資料の提供など、実質的には「求職者」を応援するサービスも多い。しかし「ビジネス支援」という名前で見えていないため、利用者には「ビジネス」=「現在仕事をしている人」というイメージを与えないか。「求職者」という対象を明確にし、それに特化した資料や情報の収集、相談会・セミナーの開催、重点的な広報ができればより多くの人に貢献できるはずだ。			

図書館名	New York Public library	最終閲覧	H26.7.7	No. 6
URL	<a href="http://www.nypl.org/spacerental">http://www.nypl.org/spacerental</a>			
タイトル	<b>Space Rental (スペース・レンタル：場所の提供)</b>			
概要	様々な活動に図書館のスペース(場)を提供。結婚式、企業イベント(プレミアム企画、パーティ、会議、記者会見、新作発表会)、映画や写真の撮影、ファッションショー等(有料・無料等様々な条件等あり)			
提案	図書館単独では、有料でのスペース提供は難しいが、ビジネス関係のイベントでも地域性や公共性のあるもの、フィルムコミッションと連携する映画や写真の撮影、ブライダル業界とも関連する結婚式などに無料で提供できれば、幅広い分野のビジネス活動を支援できる。			

図書館名	New York Public Library	最終閲覧	H26. 7. 7	No. 7
URL	<a href="http://www.nypl.org/blog/2013/05/15/new-business-best-sellers-may-2013">http://www.nypl.org/blog/2013/05/15/new-business-best-sellers-may-2013</a>			
タイトル	<b>New Business Bestsellers: May 2013 (ビジネスベストセラー紹介)</b>			
概要	雑誌等で紹介されるビジネス本を図書館のホームページ上で紹介し、利用につなげている。			
提案	ビジネス雑誌や新聞には、多くのビジネス書に関するレビューが載る。ビジネスの専門家や新聞記者、編集者等が推薦する本を図書館利用に結び付けるのはどうだろうか。ネットで公開されている書評等はリンクを使えば図書館のホームページからも活用しやすい。主な出版社とBL協議会が協定を結び、コンテンツの利用可につなげるのもどうか。			

図書館名	New York Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 8
URL	<a href="http://www.nypl.org/tech-connect?hspace=213971">http://www.nypl.org/tech-connect?hspace=213971</a>			
タイトル	<b>NYPL TechConnect Classes (コンピュータ・クラス)</b>			
概要	コンピュータやタブレットの使い方、マウスやキーボード、マイクロソフトオフィスの操作方法、ネットでの職の探し方や健康情報の探し方等を学ぶことのできる無料のクラスを開催している。			
提案	今やネット情報は仕事に不可欠であり、職探しやキャリアを積むにあたってパソコンやインターネットが使いこなせるスキルは不可欠だ。図書館が、住民が必要な情報にアクセスできることを保証することを使命だと考えればコンピュータ・クラスもサービスの一つのあり方だ。日本でも一般的なパソコン教室をボランティアに講師を依頼して実施している館がある。			
他館	Microsoft IT Academy (The Seattle public library) <a href="http://www.spl.org/library-collection/articles-and-research/microsoft-it-academy">http://www.spl.org/library-collection/articles-and-research/microsoft-it-academy</a>			

図書館名	New York Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 9
URL	<a href="http://www.nypl.org/voices/connect-nypl">http://www.nypl.org/voices/connect-nypl</a>			
タイトル	<b>Connect with NYPL (ニューヨーク公共図書館とつながろう)</b>			
概要	ビジネス支援に特化したものではないが、図書館が様々なメディア(10種類)を使って情報発信をおこなっている。メール、Facebook、Twitter、flicker等。			
提案	無料で使えるソーシャルメディアを最大限に活用すること。大きな口コミにもつながる。特に若い人への効果が期待でき、その年代へのビジネス支援を行うのであれば必須である。 ホームページで動画や写真のアップ、閲覧者とのやりとりなどがでない図書館もあるが、その点をソーシャルメディアはカバーしてくれる。(規定の作成が必要)			

図書館名	New Jersey Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 10
URL	<a href="http://njlibrarychampions.org/">http://njlibrarychampions.org/</a>			
タイトル	<b>New Jersey Library Champions (ニュージャージー図書館 チャンピオン！)</b>			
概要	図書館を利用し、何らかの役にたった人に、その報告しをてもらい、図書館利用の「チャンピオン」として認定・紹介する。一般の利用者から有名人まで幅広い事例があり。「子どもが本を読めるようになった」「失明した家族が図書館の資料を使って喜びをえている」「図書館が人生を変えた」など様々な事例がある。そんな中に「職探しにともて役だった」というコメントも。			
提案	利用者の体験談はメディアや他利用者へのPR効果も絶大だ。日本の図書館も成功事例を集めるべき。一般的な人から募集すると同時に、有名人の図書館活用の事例は図書館側が探してこちらから表彰する。(BL協議会でプラットフォームを！)			
他館	Libraries Changing the World (Cecil County Library) <a href="http://www.cecil.ebranch.info/small-business/libraries-changing-the-world/">http://www.cecil.ebranch.info/small-business/libraries-changing-the-world/</a>			

図書館名	Cecil County Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 11
URL	<a href="http://www.cecil.ebranch.info/small-business/business-questions-answered/">http://www.cecil.ebranch.info/small-business/business-questions-answered/</a>			
タイトル	<b>Business Questions Answered (図書館に寄せられたビジネスに関する質問とその解答)</b>			
概要	図書館に寄せられたビジネス関係の質問(レファレンス)とその回答を紹介し、図書館にビジネス関係の質問が来ていること、それに対して図書館がどのようなサービスができるのかをPRしている。			
提案	日本でもビジネスの質問を紹介している図書館はあるが、もっと積極的に行ってはどうか。各館でのレファレンス事例を集め公開することはもちろん、BL協議会も使える事例を全国的にピックアップする。「ビジネス」をキーワードに検索すると千件以上ヒットする国立国会図書館のレファレンス共同データベースの活用が一番の近道だ。			

図書館名	Charleston County Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 12
URL	<a href="http://www.ccpl.org/content.asp?id=14653&amp;action=detail&amp;catID=5399&amp;parentID=5372">http://www.ccpl.org/content.asp?id=14653&amp;action=detail&amp;catID=5399&amp;parentID=5372</a>			
タイトル	<b>[non title] 出張サービス紹介サービス</b>			
概要	ビジネス支援について詳しく知りたいという会社や団体に出向き、ビジネス支援サービスや図書館資料について説明を行うサービスを実施している			
提案	図書館で待つのではなく必要な場所に出向いて図書館をPRする。説明を受ける企業や団体にとってもメリットでしかないサービス。会社や団体の職員と一緒に説明を聴くことでその後の利用の可能性は高まる。イベント等への出前図書館の発展型としてもどうか。			

図書館名	Scottsdale Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 13
URL	<a href="http://www.scottsdalelibrary.org/eureka">http://www.scottsdalelibrary.org/eureka</a>			
タイトル	<b>The Eureka Loft at Civic Center Library (アリゾナ州立大学との共同のワークスペースの運営)</b>			
概要	アリゾナ州立大学と共同で館内でスペース「Eureka」を運営し、求職中の人や企業家・会社の経営者等をサポートしている。ビジネスパーソンに対する様々な講座を開催するほか、無料のWi-Fiの環境も提供されコワーキングスペースとしても利用が可能。			
提案	大学は、教授・施設・人脈などビジネスに役立つコンテンツの宝庫だ。それらを住民につなぐ役割としての公共図書館のあり方は今後のモデルだ。地域貢献を目指す大学が増えていることもあり、大学へのメリットにもなる。コワーキングスペースは外出中のビジネスパーソン等を引き付ける方法になるし、貴重な情報交換の場にもなる。			

図書館名	Scottsdale Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No.14
URL	<a href="http://www.scottsdalelibrary.org/eureka">http://www.scottsdalelibrary.org/eureka</a>			
タイトル	<b>Business Mentoring (ビジネス指導相談会)</b>			
概要	起業を目指す人や会社の経営者から相談事項と希望する時間等を聞き申し込みを受け取る。図書館は、内容により、ビジネス経験のあるボランティア、各分野のスペシャリスト、非営利団体、SCORE等の指導者を紹介し相談会をセッティングする。			
提案	日本の図書館の相談会は「特許」・「起業」等のテーマと日時を予め設定したものがほとんどだ。人脈やコーディネートが必要だが、課題は何でもOKとして、それにあった相談者による相談会をセッティングするのはどうだろうか。			

図書館名	Scottsdale Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 15
URL	<a href="http://www.scottsdalelibrary.org/eureka">http://www.scottsdalelibrary.org/eureka</a>			
タイトル	<b>Monday Morning Business Energizer (月曜日の朝のビジネス情報交換会)</b>			
概要	毎週月曜日の朝に、企業家同士がアイデアの共有、情報交換、人脈づくりを行うことを目的とした情報交換会を開催。インストラクターがいるが、そのメールアドレスが「edgar@compasslifeandcareer.com」となっているので、民間のビジネスコーディネーターが務めているようだ。			
提案	図書館のオープン性を活かして、企業家同士が集い、情報交換や新しいアイデアを生み出す「場」を作っていること。図書館資料を絡めると一層効果が高まるはずだ。コーディネートする人材は、大学や自治体の商工労働関係部署職員、法人等と連携を。			

図書館名	Free Library of Philadelphia	最終閲覧	H26.7.7	No. 16
URL	<a href="http://libwww.freelibrary.org/business/patents.cfm">http://libwww.freelibrary.org/business/patents.cfm</a>			
タイトル	<b>Patent and Trademark Resource Center (特許・商標情報センター)</b>			
概要	フィラデルフィアの図書館は、国の特許・商標情報センターの役割を兼ねている。特許・商用に関する図書や、国の特許関係のデータベースへアクセスするネットワーク等が無料で提供されている。			
提案	日本でも、かつては特許コレクションを持っている図書館が多かった。それが情報のネット化に伴い衰退したのは、単に情報だけを提供してきたからだ。情報の提供ではなく、相談者に会える相談会の開催、特許や商標の存在や必要性を中小企業等に伝える展示、特許庁のデータベースの活用法の伝達等ノウハウや気づきを提供し、地域に身近な特性も活かせれば図書館の有用性はまだまだある。特許庁と連携した計画や研修が必要だ。			

図書館名	New York State Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 17
URL	<a href="http://www.nysl.nysed.gov/business/delivery.htm">http://www.nysl.nysed.gov/business/delivery.htm</a>			
タイトル	<b>Copy and Delivery Services (資料のコピー、宅配サービス)</b>			
概要	ビジネス支援を紹介するページで、資料の複写・郵送サービスについて紹介している。紙、デジタルでコピーが可能で、郵送に加え、FAX、メールでも届けられる。			
提案	日本では、一般的なサービス紹介のページで複写サービス、郵送サービスについて紹介しているが、ビジネス支援サービスについて調べているサイト閲覧者が、一般的なサービス紹介のページを見るかどうかは疑問。サイト閲覧者の目的にあった文章でサービスを紹介していることは学ぶべき点だ。「2000万点の資料と100を超えるオンライン情報源からの複写が可能」「あなたのオフィスまで届きます」「48時間以内に発送します」というフレーズはインパクトがある。日本の著作権法でも実施可能な紙ベースのコピーサービスや速達を含めた郵送複写、国会図書館や大学図書館と連携した複写サービスも充分価値は高い。			

図書館名	Kansas city public library	最終閲覧	H26.7.7	No. 18
URL	<a href="http://www.kclibrary.org/cradleofentrepreneurs-media">http://www.kclibrary.org/cradleofentrepreneurs-media</a>			
タイトル	<b>Learn from local entrepreneurs! (地元企業家から学ぶ)</b>			
概要	地元事業家の講演会を開催。過去に開催された記録をハイライト映像・音声・写真でWebに公開。			
提案	地元の事業家との接点を作ることはその地域の図書館にしかできない事業である。資料活用に加え、このように、人と実際に会う機会を提供できる図書館は目指すべきモデル。また、そういった記録を各館がネットで公開できれば、全国的な地元企業のアーカイブができ、そこからの情報交換や新たなビジネスチャンスにつながる可能性もある。			

図書館名	County of Los Angeles Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 19
URL	<a href="http://www.colapublib.org/teens/career/">http://www.colapublib.org/teens/career/</a>			
タイトル	<b>After high school (高校を卒業した皆さんへ)</b>			
概要	ビジネスに特化したものではないが、「高校を卒業した人」へという項目で情報提供をしている。その中に金融や就職に関する情報もあり(図書館にある関連書籍、リンク)			
提案	ビジネス支援といっても幅が広い、就職前の人、失業者、新入社員、中間管理職、管理職と必要なものはそれぞれ違う。「ビジネス支援」の一言で大きくPRするだけでなく対象者を明確にすべきだ。高卒生もターゲットだ。実業高校を出て就職する人は、すぐに仕事や会社に適応していかなくてはならない。その際に図書館がサポートする意思を見せる。これは、学校のキャリア教育と連携もできる。学校やヤングハローワークとの協力も欠かせない。そして、その若者に情報を届けるためソーシャルネットワーク等を活用したPRも必要だ。			
他館	Youth financial literacy (Kansas city public library) <a href="http://www.kclibrary.org/business-career">http://www.kclibrary.org/business-career</a>			

図書館名	City Business Library of London	最終閲覧	H26.7.7	No. 20
URL	<a href="https://www.cityoflondon.gov.uk/business/economic-research-and-information/city-business-library/news-and-views/Pages/default.aspx">https://www.cityoflondon.gov.uk/business/economic-research-and-information/city-business-library/news-and-views/Pages/default.aspx</a>			
タイトル	<b>Student visits to the City Business Library (生徒向けビジネス図書館ツアー)</b>			
概要	学生向けのビジネス図書館ツアーを受け入れている。館内案内のほか、データベースや資料に触る経験、図書館員からの説明も受けることができる			
提案	ある程度規模の大きな図書館であれば、ビジネス支援サービスに特化したツアーを行うことができるのではないかと。商業科のある高等学校や、経済学部等のある大学がターゲットになる。			

図書館名	Denver Public library	最終閲覧	H26.7.7	No. 21
URL	<a href="http://denverlibrary.org/nonprofit-resource-center">http://denverlibrary.org/nonprofit-resource-center</a>			
タイトル	<b>Nonprofit Resource Center (非営利団体のための情報センター)</b>			
概要	図書館の3階に非営利団体のための情報センターがある。活動に関連するデータベース、本、雑誌、そして資金情報等を提供している			
提案	非営利団体というビジネスとは別物に思えるが、実質的には会社と変わらない。こういったNPO、NGOを支えるビジネス支援の可能性もある。※アメリカでは、図書館によってBusiness & Nonprofitとビジネスと同じくくりになっていることもある。			

図書館名	Portland public library	最終閲覧	H26.7.7	No. 22
URL	<a href="http://www.portlandlibrary.com/topics/business/">http://www.portlandlibrary.com/topics/business/</a>			
タイトル	<b>Public Libraries + Startups (公共図書館 + 操業開始)</b>			
概要	ビジネス支援機能を紹介するプレゼンスライド。ある人物が、カップケーキショップをオープンするというストーリーで、それに沿って、図書館に何ができるかを紹介している。オンライン資料、行政部署のサービス、図書館の雑誌・本・行政レポート・金融データなどを紹介。資料活用の実例や、資料に掲載されたデータ紹介も織り交ぜながらストーリーが進む。			
提案	図書館の機能を、利用者の時間軸に沿って紹介している点が良い。また、図書館機能だけでなく、ネットの情報源や、行政サービスも一緒に紹介することで、その説得力を増している。「飲食店を開店する」、「サラリーマンとして新規企画を立ち上げる」、「新しい製品を開発する」などのモデルケースを想定し、スライドやガイドを作成してはどうだろうか。BL 協議会で、オーソドックスなモデルケースで作成してもよい。ストーリー作成には、中小企業診断士や商工関係部署の職員、専門機関職員等の協力が必要。			

図書館名	Portland public library	最終閲覧	H26.7.7	No. 23
URL	<a href="http://www.portlandlibrary.com/topics/business/">http://www.portlandlibrary.com/topics/business/</a>			
タイトル	<b>Government (行政情報の収集と提供)</b>			
概要	ビジネス部門と並行して行政情報の収集と提供を一つのサービスとして明確化している。行政情報、各種様式、軍事関係資料、法令等を、研修を積んだスタッフが提供している。行政情報の保存という役割も兼ねている。			
提案	ビジネス分野においても補助金情報、法令、制度等についての行政情報は重要であるが、これは探しにくく、土・日曜日は役所に問合せをすることも難しい。それをカバーする役割を図書館が担ってはどうか。掛かる資料費はゼロ。行政の透明化や住民の行政参画支援にもつながるだろう。			

図書館名	Portland public library	最終閲覧	H26.7.7	No. 24
URL	<a href="http://www.portlandlibrary.com/topics/business/">http://www.portlandlibrary.com/topics/business/</a>			
タイトル	<b>Finance &amp; Financial Literacy (金融に関する知識)</b>			
概要	ビジネスに挑戦する人に対し、金融や投資に関する情報や知識を提供している。図書、データベース、有用なウェブサイトの紹介など。			
提案	ビジネスにはお金に関する知識は不可欠だ。それは、会社の運営や起業の資金のみならず、人生の資産設計、税金や保険、賃金、投資など多岐にわたる。こういった「お金」の切口からも図書館はビジネスを支援できる。関連資料を揃えるほか、社会保険労務士、税理士、ファイナンシャルプランナー、銀行員等と連携したセミナーや相談会、展示なども開催できる。学生向けの金融教育にも応用できる。			

図書館名	Portland public library	最終閲覧	H26.7.7	No. 25
URL	<a href="http://www.portlandlibrary.com/topics/business/">http://www.portlandlibrary.com/topics/business/</a>			
タイトル	<b>Law（法律）</b>			
概要	ビジネス支援を紹介するページで、関連する法律を把握し、適切に使うように促している。 (内容は関連するネット情報源の紹介)			
提案	法律はビジネスにとっても欠かせないものだ。登記から債務、契約、雇用、会社の解散など多岐にわたる。ポートランド図書館は、ネット情報源の紹介だけだが、関連する図書や雑誌の収集・提供、相談機関の紹介、相談会の開催、法令・判例に関するレファレンスサービスなども実施できる。日本では法律情報サービスに取り組んでいる館もあるが、ビジネス支援と連動していないことも多い。もったいない。企業法務を担当する弁護士や、登記を取り扱う司法書士、雇用や保険の専門家である社会保険労務士などとの連携も模索すべきだ。			

図書館名	Johnson county library	最終閲覧	H26.7.7	No. 26
URL	<a href="http://www.jocolibrary.org/templates/JCL_InfoPage.aspx?id=24413">http://www.jocolibrary.org/templates/JCL_InfoPage.aspx?id=24413</a>			
タイトル	<b>Maker Space（ものづくりスペース）</b>			
概要	館内に「ものづくりスペース」を設け、パソコンや各種ソフトウェア、レコーディングマシンや、ビデオカメラ、3Dプリンタ等様々な機器を置き、住民がものづくりにチャレンジできる環境を設けている。HP、音楽、グラフィック、映像、名刺なども作ることができる。			
提案	必ずしも、ビジネス目的ではないが、実際に物を作ることができる環境は、人の好奇心と学びたいという意欲を高め、資料利用との相乗効果が期待できる。また、3Dプリンタなどの最新鋭の機材に触れることはビジネスにとっても新たなきっかけとなる。図書館がそういった場になっていることはすばらしい。名刺やWebサイトを作成できることは、そのままビジネス支援にも直結する。常設でなくとも、関連機関や研究施設と共催で、電子顕微鏡や3Dプリンタ、タブレットなどの機器を体験できるイベントを開催してはどうか。			

図書館名	Boston Public Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 27
URL	<a href="http://www.bpl.org/kbl">http://www.bpl.org/kbl</a>			
タイトル	<b>[No title] ホームページでの地域のビジネストピックスの提供</b>			
概要	カースティンビジネス図書館のホームページでは、自館のサービス紹介に織り交ぜながら、地域のビジネストピックスを紹介している。「消防士の採用試験が実施について」、「スーパーボールがどのくらいの経済効果を生むか」、「フォードが新たなソーラーカーをお披露目する」など。トピックに対し図書館資料や統計などが紹介されている。			
提案	図書館のホームページで、ちょっとした地域のビジネス情報が入手できれば、サイトの新鮮さが増す。また、それに資料やデータベース情報を関連付けることで、元の情報の価値も、図書館資料の価値も何倍にも増える。ビジネスの専門家ではない図書館員が選定するニュースはユニークな情報提供にならないか。地域のビジネス関係の出版社や新聞社、研究機関等と連携し、それらのホームページに取り上げられたトピックにリンクを張ってもよい。			

図書館名	PIMA County Library	最終閲覧	H26.7.7	No. 28
URL	<a href="http://www.library.pima.gov/calendar/?ID=19168">http://www.library.pima.gov/calendar/?ID=19168</a>			
タイトル	<b>Catalyst Café: Where Tech Meets Tucson (情報交換のためのカフェ)</b>			
概要	「Catalyst Café」と銘打って、コーヒーをサービスする情報交換会を開催している。会場は、カフェではなく図書館の一室。地域情報やビジネス、非営利団体の活動、各種アイデア等について情報交換が行っている。			
提案	飲食をしながらカジュアルな雰囲気の情報交換をすると良いアイデアがでるともいわれるが、今日本で図書館に併設されはじめているカフェで情報交換会やプレゼン等を行うのはどうか。憩い+αが狙える。			

図書館名	Dallas Public Library	調査日	H26.7.7	No. 29
URL	<a href="http://dallaslibrary2.org/business/hamon/hamon.htm">http://dallaslibrary2.org/business/hamon/hamon.htm</a>			
タイトル	<b>Nancy and Jake L. Hamon Oil and Gas Resource Center (石油・ガス情報センター)</b>			
概要	ダラスの図書館の石油・ガスリソースセンターでは、地元の主産業であるエネルギー業界のコレクションを構築している。古い紙の資料からデータベース・電子書籍など多様。			
提案	地元の主産業を考えてコレクションを構築すること、郷土資料を使ったビジネス支援へのヒントを与えてくれる。日本の図書館も郷土資料をビジネスに使う提案を積極的に行うべきだ。これまで蓄積した郷土コレクションに最新の図書を加えることで相乗効果も狙える。			
他館	Furniture Industry (High Point Public library) <a href="http://www.highpointpubliclibrary.com/index.php?page=business">http://www.highpointpubliclibrary.com/index.php?page=business</a> Auto Industry (Detroit Public Library) <a href="http://www.detroitpubliclibrary.org/auto-industry">http://www.detroitpubliclibrary.org/auto-industry</a>			

図書館名	Pasadena Public Library	調査日	H26.7.7	No. 30
URL	<a href="http://cityofpasadena.net/library/library_cards_my_account/business_card/">http://cityofpasadena.net/library/library_cards_my_account/business_card/</a>			
タイトル	<b>Business Library Card (ビジネスライブラリーカード)</b>			
概要	ビジネスサービス利用者向けの図書館カードを発行している。このカードがあれば家や職場から図書館の情報資源にアクセスできるほか、職場全員がそのカードを共有して使うことができる。また、図書館の関連するトピックスやニュースを受け取ることができる。			
提案	日本の公共図書館においても高齢者施設や保育園等にカードを発行し、団体貸出を行っているが、企業や会社等への団体貸出を検討してはどうか。また登録することで逆に情報を送ることができるのは図書館のPRとしてのメリットも大きい。			